

千代倉歴史館企画展

新年を

ことほ

寿

協賛

東急リバブル株式会社
中部支店 名古屋栄センター

七福神画表装
百福之図から
金森南塘画

2025年
11月20日(木)

2026年 ▼
1月18日(日)

※ただし、12月15日(月)～1月7日(水)は休館

木・金・土・日曜日のみ開館10時～16時30分 (入館は16時まで)

末広図
小田切春江画

千代倉歴史館

Chiyokura Memorial Museum at Narumi-stage, Tokaido

協賛 東急リバブル



千代倉家には、代々の当主が綴った日記（『千代倉家日記』）がおよそ二百四十年間分伝わっています。これらをひも解くと、十二月中旬には煤掃き（大掃除）、年末には各所へ趣き「御勘定仕廻」（決算）や歳暮の挨拶と、大店らしい忙しさに明け暮れています。新年には、若水・雑煮・屠蘇で祝った後、氏神（鳴海八幡と成海神社）へ初詣、町内各所へ年賀の挨拶、使用人へ祝儀……と続きます。その年の事情にもよりますが、十一日には蔵開き

とお帳閉じ祝い（仕事始め）。また、俳諧の家・千代倉家では新年の連句会もしばしば開かれました。本展では、『千代倉家日記』に加え、新年の祝いの場を演出したと思われる掛軸などによって、今では遠くなった正月の様子をご想像ください。なお今回は、松尾芭蕉が二代知足に宛てた年始状を特別出品いたします。



◀ 七福神画表装
百福之図から
金森南塘画



▲ 破魔弓之図
吉川君溪画



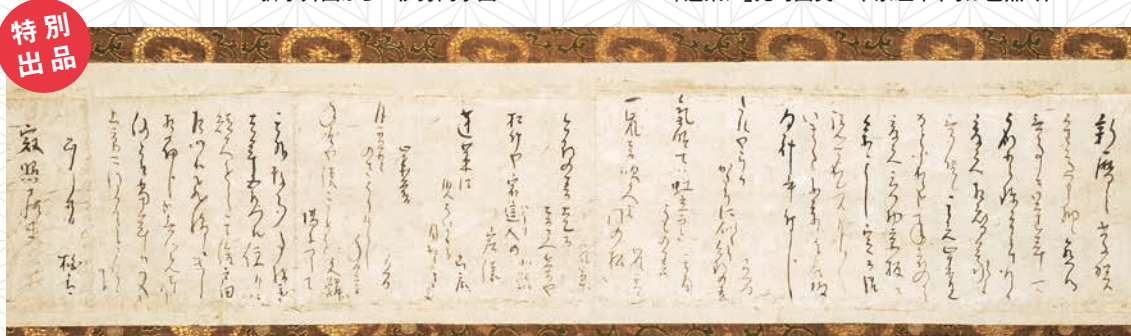
▲ 二福神図から恵比寿図 森高雅画



▲ 獅子舞図から 伊勢門水画



▲ 「蓬菜に」発句画賛 千宗左筆（句は芭蕉吟）



▲ 松尾芭蕉書状（年始状）下里知足宛 貞享4年（1687）正月20日付

特別
出品

利用案内

次回 展覧会予定

絵葉書へのいざない 2026年2月26日（木）～4月5日（日）

■ 開館日 ■

展覧会開催中の

木曜日から日曜日

（展覧会は年4回程度開催）

月	火	水	木	金	土	日
-	-	-	●	●	●	●

※その都度ホームページ等でお知らせします。

■ 開館時間 ■

10:00～16:30

（入館は16:00まで）

■ 観覧料 ■

一般 500円

高大生 300円

小中生 100円

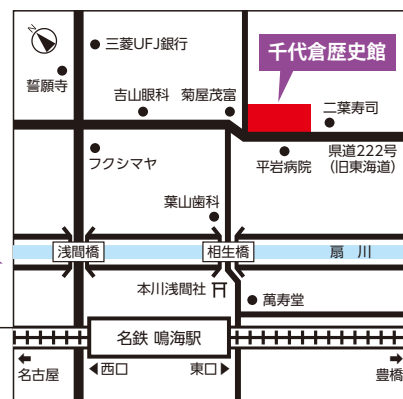
● 団体見学ご希望の方は2週間前までにご相談ください。

● ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

● 駐車場はございません。

アクセス

名鉄鳴海駅東口から徒歩4分



〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字相原町27

千代倉歴史館

Chiyokura Memorial Museum at Narumi-stage, Tokaido

お問い合わせ等は
ホームページまで

